

「沖縄県」この一年

2025年は戦後80年の節目にあたり、県は平和祈念事業として40の取り組みを全庁で推進し、若者をはじめ多くの県民の皆さまと共に、平和を願う沖縄の思いを国内外へ発信しました。また、沖縄尚学高等学校の夏の甲子園優勝は、県民に大きな誇りと勇気を与えてくれました。

一方で、台風第8号による大東島地方の記録的な大雨、導水管破損による断水など、県民生活に深刻な影響を及ぼす事案も発生し、県は一日も早い復旧に向け取り組みました。

2025年は戦後80年の節目にあたり、県は平和祈念事業として40の取り組みを全庁で推進し、若者をはじめ多くの県民の皆さまと共に、平和を願う沖縄の思いを国内外へ発信しました。また、沖縄尚学高等学校の夏の甲子園優勝は、県民に大きな誇りと勇気を与えてくれました。

一方で、台風第8号による大東島地方の記録的な大雨、導水管破損による断水など、県民生活に深刻な影響を及ぼす事案も発生し、県は一日も早い復旧に向け取り組みました。



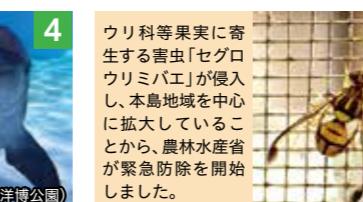
沖縄県とハワイ州のクリーンエネルギー協力に関する覚書」(国式)



伊良部大橋は開通から10周年を迎え、教育、医療、福祉などの生活環境の向上、産業基盤の整備や観光資源の開発を支援するなど、宮古圏域の振興に大きく寄与しています。



沖縄県差別のない社会づくり条例等の理念に基づき、個人の尊厳と多様性が尊重される社会の実現を目指して「沖縄県パートナーシップ・ファミリーシップ制度」を開始しました。



ウリコ等果実に寄生する害虫「セグロウリミバエ」が侵入し、本島地域を中心に拡大していることから、農林水産省が緊急防除を開始しました。



沖縄国際海洋博覧会以来50年にわたり、本県の観光振興に貢献しているミナミバンドウイルカの「オキちゃん」と「ムク」に、沖縄県観光特別賞を授与しました。



天皇皇后両陛下、愛子内親王殿下がご来県され、沖縄国際海洋博覧会50周年記念事業企画展をご覧になったほか、沖縄戦没者墓苑での供花、対馬丸記念館、首里城などの県内事情をご視察されました。



島しょ地域における持続可能な社会を目指し、クリーンエネルギー導入拡大に関する対話の促進や技術交流を図るため、「沖縄県とハワイ州のクリーンエネルギー協力に関する覚書」を更新しました。



第107回全国高等学校野球選手権大会で優勝した沖縄尚学高等学校野球部に沖縄県民栄誉賞を授与。また、同校の比嘉公也監督に沖縄県スポーツ指導者特別賞を授与したほか、市立尼崎高等学校吹奏楽部の羽地総監督に感謝状を贈呈しました。



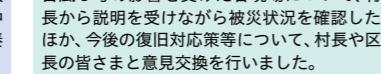
高円宮妃殿下のご臨席のもと、全国の食生活改善推進員が一堂に会し、事例研究発表、表彰式典などを那覇市で開催し、県の食文化や健康づくり活動について県内外に発信しました。



公立沖縄北部医療センターの医師確保や研修体制の充実を図る「琉球大学病院地域医療教育センター」の取組を進めるため、沖縄県、琉球大学、沖縄県北部医療組合、沖縄県北部医療財団の4者で協定を締結しました。



米国カリフォルニア州ロサンゼルスにて、海外では初の「北米沖縄県人会サミット」を開催。在北米の海外県人会から県の交流事業に対する要望を受け取るとともに、沖縄県の伝統芸能を通して、現地県人会と交流を行いました。



台風8号の影響を受けた各現場について、村長から説明を受けながら被災状況を確認したほか、今後の復旧対応策等について、村長や区長の皆さまと意見交換を行いました。



公立沖縄北部医療センターの医師確保や研修体制の充実を図る「琉球大学病院地域医療教育センター」の取組を進めるため、沖縄県、琉球大学、沖縄県北部医療組合、沖縄県北部医療財団の4者で協定を締結しました。



米国カリフォルニア州ロサンゼルスにて、海外では初の「北米沖縄県人会サミット」を開催。在北米の海外県人会から県の交流事業に対する要望を受け取るとともに、沖縄県の伝統芸能を通して、現地県人会と交流を行いました。



台風8号の影響を受けた各現場について、村長から説明を受けながら被災状況を確認したほか、今後の復旧対応策等について、村長や区長の皆さまと意見交換を行いました。



安全・安心なサイバー空間の実現に向けて、県警察とともに取り組むことを目的とし、沖縄県警察サイバーセキュリティボランティアを新たに立ち上げました。



沖縄戦で犠牲となった戦没者のみ靈を慰めるとともに、世界の恒久平和を願う「沖縄のこころ」を発信するため、「戦後80年沖縄全戦没者追悼式」を開催しました。



沖縄戦で犠牲となった戦没者のみ靈を慰めるとともに、世界の恒久平和を願う「沖縄のこころ」を発信するため、「戦後80年沖縄全戦没者追悼式」を開催しました。

沖縄戦で犠牲となった戦没者のみ靈を慰めるとともに、世界の恒久平和を願う「沖縄のこころ」を発信するため、「戦後80年沖縄全戦没者追悼式」を開催しました。